



横高未来ナビを実施しました

令和8年5月19日(火)、各界で活躍する先輩方を講師に迎え、1年生を対象とした「横高未来ナビ」を実施しました。講演では、職業やその職業に就くまでの道のり、人生や社会について学び、将来の進路や未来について考えを深めました。今回は代表生徒の感想を紹介します。



朝野 真奈さん

【プロフィール】

41期。高校時代は弓道部、体育祭実行委員として活動。横浜市立大学商学部経済学科卒業。精密機器メーカーの防衛営業担当として勤務し、出産育児を機に退職。その後、2級ファイナンシャル・プランニング、社会保険労務士の資格を取得。朝野真奈保険労務士事務所を開業し、現在に至る。



お話を聞いて私は、資格や気持ちの面で学びを得た。資格については、取得する大変さとその後の人生に関わることが参考になった。資格はそう簡単には取得できないけれど、取得後は人のためになる仕事につける朝野さんの経験から、私も今の内から様々な資格に挑戦したいと思った。気持ちの面では、諦めず継続していく強い気持ちを学べた。お話から資格取得に関わらず普通の生活の中でも何事も諦めないでやってみることをこれからの人生に活かしていけそうと思った。

1年4組 北濱 勇人



五月女 真人さん

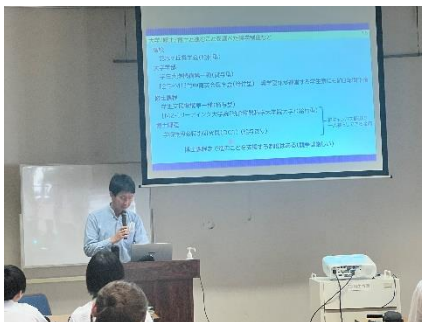
【プロフィール】

59期。高校時代は科学部と将棋部として活動。東京大学理科一類(工学部物理工学科)に進学。修士～博士では新領域創成科学研究科物質系専攻。その後、理化学研究所創発物性科学研究センターにて特別研究員として勤務。現在は東京大学マテリアル工学専攻助教として勤務している。



皆のあこがれである東京大学の話を、横須賀高校卒業生という身近な立場で話を聞けて、とても良かったです。東京大学はこの横須賀高校からも、相当優秀な方でないと進学できません。五月女様の代でも上位2人しか進学できなかったと聞きました。そんな大学に進学するために、五月女様が横須賀高校で、どのように勉強したかも、もちろん勉強だけでなく、文化祭や学校生活の話も聞けて、とても勉強になりました。また、入るまでの過程の話だけでなく、実際に進学してからどのようなことをしたのか、現在にどうつながったのかを知れました。個人的には第1希望の研究はじゃんけんで負けてしまい、違う研究になってしまったという話がとても驚きました。

1年3組 大矢 陽摩



小沢 康弘さん

【プロフィール】

40期。大楠中学校出身。高校時代はいまはなき軟式野球部、軽音楽部に所属。山口大学人文学部中退、早稲田大学第一文学部文芸専修卒業。フリーライターを経て、2012年より吹奏楽をメインフィールドに作家活動開始。おもにノンフィクション、小説を執筆。現在は作家業の傍ら、コンサートの司会なども担当。各種SNSでも情報発信中。



小沢先生の人生は必ずしも順調に進んできたわけではなく、苦勞した場面もあったなかで吹奏楽者あるいは作家として成功を収めていることに感銘を受けました。また、大学受験に失敗して滑り止めの山口大学に進んでも、絶対に第一志望に行きたいという思いから、一念発起して第一志望である早稲田大学に合格したという話を聞いたときは、小沢先生の努力家な一面を感じました。自分が特に驚きを受けたのは、学生時代に作家を目指してから作家としてデビューするまでに20年以上の月日が経っているということです。小沢先生のブレない夢への思いもすごいです。小沢先生がそんな長い期間諦めずに行動していたことが本当にすごいなと思いました。自分も部活動や勉強で両立させるのに苦勞することがありますが、そのときに今回の小沢先生が講演会でおっしゃっていたことを思い出しながら乗り越えていこうと思います。

1年5組 水野 紡季



花崎 徹治さん

【プロフィール】

50期。横須賀高校卒業後、東京理科大学理工学部に進学。大学卒業後、野村総合研究所に入社。クラウドサービスやシステム監査といった業務に携わる。仕事と育児をしながら1年で「美術館学芸員」資格を取得！また、仕事の傍ら、ロンドン芸術大学参加やMoMAのファッションコースを学ぶ。現在、「NRIアート部」を立ち上げ。現在190名規模へ成長。本業(IT)と感性(アート)を融合させた独自ポジションで、イベントへの登壇や、文章の寄稿、日本経済新聞やラジオにも登場。



花崎さんの講演を聞いて、好きなことが未来の武器になるという言葉が印象に残りました。花崎さんはITエンジニアとして働きながらアートにも関わり、自分の好きなことを大切にしてきたからこそ現在の活躍につながっていると思いました。しかし、私は今自分が本気で好きだというものをまだ見つけられていません。ただ、花崎さんが寄り道を大切にしてきたとわかったので、無理に見つけようとせず、様々なことに挑戦していきたいです。今回の講演を通じて、自分の可能性を広げられる好きを見つけないと感じました。

1年2組 古敷谷 悟



横須賀高校にはこの他にも多方面で活躍されている方が、たくさんいらっしゃいます。

C2多目的室横には、朋友会からのお知らせが掲示されていますので、こまめにチェックしましょう！



池田 陸郎さん

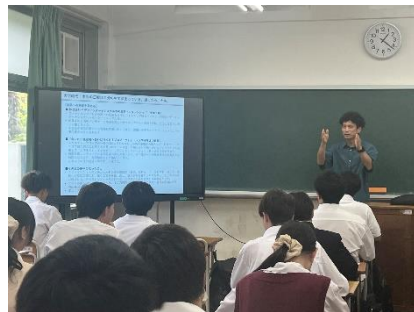
【プロフィール】

50 期。高校卒業後、早稲田大学政治経済学部に進学。大学卒業後、東レ株式会社に入社。働きながら、「BEACHHAYAMA」、「カーボンフリーコンサルティング株式会社」を立上げ参画。その後、転職や起業をし、やりたい事や生き方を追求し続けている。



今回、私が未来ナビで池田さんのお話を聞いて一番印象に残ったのは池田さんの行動力のあるエピソードについてです。池田さんは友人と一緒に経営者に会いに行くプロジェクトをしていました。そのプロジェクトを通してアポイントメントをとり、お話を聞くまでの過程で身につけた能力や実際に聞いたことについて学ぶことができたそうです。このことから何かを成し遂げることのできる人は、自分から考えて行動することのできる人だと感じました。私はまだ将来について明確に決めていませんが、今からできることを少しずつでも積み重ねていきたいと思いました。

1年2組 松浦 咲輝



上田 肇さん

【プロフィール】

横高卒業後、一年間の浪人生活を経て、上智大学法学部に進学。その後、外務省に入り、30年以上にわたって日本と外国での勤務を繰り返してきました。外国ではフィリピン、アメリカ、イラン、インドネシアで勤務し、東京では東南アジア外交、国際協力の担当課長を経験しました。現在は外務省領事局のナンバー2として、イランなど中東諸国からの政府チャーター機による邦人退避などに従事しました。



上田肇様の講演を聴いて、将来について考えることの大切さを実感しました。特に趣味や偶然出会った本などが将来の進路を決めるきっかけとなるというお話や、変身願望を持ち続けることの大切さが印象に残りました。私はこれまで将来について考えることがあまりありませんでしたが、今回の講演を通して、自分の興味や関心を大切にしながら成長していきたいと考えました。また、目標を持つだけでなく、変身願望を持ち続けて行動に移すことの大切さを実感しました。今回の講演は、自らの将来について考える大変有意義な機会となりました。

1年4組 野呂 康佑



濱野 康太郎さん

【プロフィール】

60 期。高校時代は硬式野球部の主将として県ベスト8を目指して活動。高校卒業後は立教大学に進学。卒業後は野村不動産(株)に入社。野球は子供の少年野球チームのコーチや、会社のチームに所属したりと、現在も続けている。



濱野康太郎さんの今回のお話の中で、もっとも印象に残った言葉があります。それは、「多くの人がやりたがらないことをやった人はやらなかった人に比べて圧倒的な成長をすることができる。」という言葉です。この言葉を聞いた時、自分より多くの人生経験を積まれた方の重みのある言葉に深く感銘を受けました。また、「人並みのことだけをしていては成長も人並みにとどまってしまう」ということに、入学から約1か月という早い段階で気づくことができたのは、今回濱野さんのおかげであると考えております。今回いただいた大変貴重なお言葉を念頭に置き、今後の人生というものを歩んでいく所存です。

1年7組 深澤 壮一朗



高橋 巨晴さん

【プロフィール】

44 期。横須賀高校卒業後、専修大学に進学。大学卒業後、(株)フォーシーズに入社。宅配ピザの「ピザーラ」他 60 業態の飲食店を経営する企業における原材料の調達、及び宅配事業の経営分析責任者。また、和郷ファーム株式会社の代表取締役として千葉県香取市で、トマトや唐辛子を約 2.4ha の農場で栽培している。



高橋さんのお話で一番共感できたのは、「人生はなにがあるかわからない」ということです。人生には本当にどうしようもない事や、1人で解決できない事が急に降ってきます。だから人との繋がりを大切にしようと思いました。また、自分が必要とされるような職に就けという言葉が頭に残っています。実際に衣食住を満足させるには、金がいります。その時に代替可能だと、高い給料は望めません。だから、職の一つの決め方の参考の一つにさせてください。これからは高橋さんの言葉を、自分の生活の一部に取り入れ、必要とされるような能力を身に付け、一期一会を大切にします。

1年6組 長峰 晴洋



八村 美璃さん

【プロフィール】

67 期。高校時代は演劇部・英語同好会で活動。高校卒業後、中央大学法学部を卒業し、法科大学院へ進学。現在は国家公務員としてデジタル庁に勤務しながら、司法試験にもチャレンジ中！



私は八村さんのお話を聴いて「changeの前にchallenge」という見方を学びました。何事もかわる前には挑戦がある。つまり、かえるためには挑戦することが大切だと学ぶことができました。例えば、テストの点数を上げたいなら、違う勉強法に挑戦してみる。様々な問題に挑戦してみる。その挑戦、行動が未来の自分のchangeをうみだし、どうなっても成功だと八村さんはおっしゃっていました。私は失敗を恐れて行動にうつすことをためらうことが多かったけれど、このお話を聴いて少し挑戦することに前向きになれたと思います。私も八村さんのように積極的に挑戦し、未来の自分へ繋げていきたいです。

1年1組 口石 陽愛



進路グループより

1年生のみなさんへ

少し前にはなってしまいましたが、未来ナビお疲れ様でした。皆さんが話を聞いた感想を一人ひとり読ませていただきました。これからの進路を決めるにあたって、すごく大事なことに気づいた人も多くいました。講師の方々の話も、共通していた部分があったのではないのでしょうか？大人になってからしか気づけないこともたくさんあるので、みなさんがすべてに共感できる訳ではないと思いますが、「その気づき」は今後の人生でも大切にしていってください。横須賀高校の卒業生は、本当に素晴らしい経歴を持った方々ばかりです。みなさんに卒業後の自分の未来に対して「希望の光」を見せたいと思い、今回の未来ナビを実施しました。進路を考える上で一番大事なこと、それは将来にワクワクすることです。ただ、昨今暗いニュースや社会の変化など、予測不可能な部分もあります。それに対して不安を抱くのではなく、「自分なら何ができるか」を考えてほしいと思います。社会課題に対して、みなさんの知恵や発想力が必要不可欠です。みなさんには、社会を変える力があります。オーバーかもしれませんが、私はそう信じています。さて、今後の進路活動については、自分自身が何者で何が強みで、何を目指して生きていくのかを考えていきます。先日やった「3軸ワーク」はその一つです。自分自身がワクワクする瞬間、満たしたい感情(価値観)は何か、そういった気持ちを知ることが進路決定におけるヒントになっていきます。次は夏休み明けに「自分語りワーク」を予定しています。自分を素直に表現できること、その先に目標を発信できる力がついていくはずですよ。